

# 第29回 北海道中学校柔道新人団体優勝(横井旗) 大会要項

2022/9/30

## 1. 目的

本大会は、中学校教育活動の一環として、中学生に広く柔道実践の機会を与え技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかるとともに、学校柔道の健全な発展と心身ともに健康な中学校生徒を育成し、全道各地から参加する中学校生徒の親睦・交流を図るものである。

## 2. 主催

(一社) 北海道柔道連盟

## 3. 後援

北海道教育委員会 北海道中学校体育連盟 札幌柔道連盟 北海道新聞社

## 4. 主管

札幌柔道連盟 北海道中体連柔道専門委員会 札幌市中体連柔道専門委員会

## 5. 期日

令和4年11月27日(日)

## 6. 会場

北海道立総合体育センター「北海きたえーる」(サブアリーナ)  
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目 TEL:011-820-1703

## 7. 競技日程

会場設営 08:00 ~09:00  
受付 08:50 ~09:20 (参加者の入場は8:50~とする)  
※会場設営終了までホワイエや更衣室でお待ち下さい。  
計量 09:00 ~09:30 (チーム毎)  
審判会議 09:40 ~09:50 (アリーナ内控室)  
監督会議 09:50 ~10:00 (アリーナ内控室)  
開会式 10:10 ~10:15  
競技 10:20 ~15:20  
閉会式 15:25 ~15:40  
会場撤去 15:50 ~16:30

## 8. 参加資格

- 北海道内中学校に在籍する、1・2年生によるチームであること。
- 同一学校でチームを編成し、男子5人制及び男子3人制は各1チーム、女子は2チームまで出場可能とする。ただし、同一選手の重複登録は認めない。  
※ 今年度より、男子3人制の団体戦を実施する。
- 本人の意思確認及び保護者又は学校と連絡をとり、健康等について承諾を得ていること。
- 監督は全柔連公認指導者資格(C指導員以上)もしくは【学校顧問特例資格】を有していること。また、外部指導者が監督となることも可能とする。  
※ 複数チームの監督を兼任することは認めるが、指導者資格を有する者が複数いる場合は、可能な限り監督兼任を避けること。
- 監督、選手ともに(公財)全日本柔道連盟に今年度の登録を済ませていること。

## 9. 大会規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2022年4月1日より施行の改正ルール)及び「少年大会特別規定」による。
- (2) 柔道衣は白色とする。
- (3) 公益財団法人講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。  
※ 女子の黒帯は白線のないものとする。

## 10. 競技方法

### <団体戦>

- (1) 登録人数は、男子5人制は監督1名、選手7名以内、男子3人制及び女子は監督1名、選手4名以内とする。
- (2) チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- (3) 3~4チームの予選リーグ戦を行い、1位チームによる決勝トーナメント戦を行う。  
参加チーム数によっては、予選リーグ戦を行わない場合や決勝リーグ戦とする場合もある。
- (4) 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (5) 勝敗の判定基準は、「一本」「技有」または「僅差(『指導』の差2)」とする。
- (6) 勝敗の優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技有」 > 「僅差」
-----------------------------
- (7) 予選のリーグ戦では、チーム間の内容が同等の場合は、引き分けとする。また、リーグ戦の順位は次の方法によって決定する。
  - ① チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
  - ② 上記①において同率の場合は、勝ち数の合計による。
  - ③ 上記②において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
  - ④ 上記③において同等の場合は、負け数の合計による。
  - ⑤ 上記④において同等の場合は、負けの内容により決定する。
  - ⑥ 上記⑤において同等の場合は、抽選(主将)によりトーナメント戦への出場チームを決定する。
- (8) 決勝トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
  - ① チーム間における勝ち数による。
  - ② 上記①において同等の場合は、内容により決定する。
  - ③ 上記②において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
  - ④ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は「一本」「技有」または「僅差(『指導』の差2)」とするが、3分間の本戦で得点の差がない場合は、延長戦(GS・時間無制限)により勝敗を決する。また、代表選で両者反則負けの場合は、両チームとも次の試合に進めない。

## 11. 表彰

男子5人制、女子優勝チームには優勝旗「横井七之助旗」を授与する。また、男子3人制の優勝チーム及び、各団体戦の準優勝、3位のチームに賞状、トロフィーを授与する。(決勝がリーグ戦の場合、3位は1チームとなる)

## 12. 参加申込及び連絡先

- (1) 出場申込は下記の方法により、令和4年11月4日(金)必着で行うこと。
- (2) 申込は、「北海道中学柔道専門委員会」Web ページ(<http://zsr.s201.xrea.com/zcj15/>)  
→本大会ページ→所定のエクセルファイルによること。  
※ 登録情報をもれなく入力し、印刷すれば申込用紙となる。  
※ 1校あたり、1名以上の審判員の帯同をお願いしたい。
- (3) 申込用紙に押印後、下記に郵送のこと。  
※ 併せて、データを([zdcj2010@gmail.com](mailto:zdcj2010@gmail.com))までメールに添付して送ること。

〒 064-0916	札幌市中央区南16条西17丁目1番35号
	札幌市立伏見中学校 高橋 直也 宛

## 13. 参加料

- (1) 1チームにつき、男子5人制は 10,000 円、男子3人制及び女子は 6,000 円

**※参加料は大会当日受付時に納入とする(事前に送らないこと)。**

## 14. 抽 選

令和4年11月5日(土)14時より(抽選結果は事前に公開する)

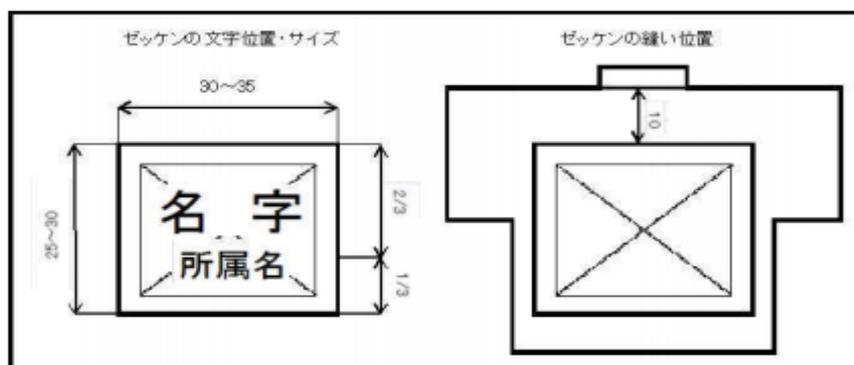
**場所:厚別南中学校 木工室**

## 15. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防について

- (1) 参加者は、スポーツ庁並びに全日本柔道連盟が作成している新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関するガイドラインを厳守し、大会に参加すること。
- (2) 大会実行委員会としても可能な限り感染防止対策を徹底した上で大会準備や大会運営に努めるが、参加者も大会期間中は各種ガイドラインに基づき、感染予防に努めること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、関係団体で協議し、大会を中止する場合があります。チームや選手の出場停止等、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために主催者が決めた措置については、主催者の指示に従い、厳守すること。
- (4) 参加者は、大会前の感染予防や緊急時の体制づくりの観点から、大会1週間前からの体調と行動履歴の記録を所定の用紙(別紙1, 4)に毎日記入すること。当日は、監督がチーム分をまとめて持参し、緊急な事態が生じた際に、すぐに提出できるようにしておくこと。
- (5) 会場内への入場は、大会役員、審判、選手、監督、コーチ(及びチーム帯同者)のみとする。観客の入場は認めない。また、監督は、参加する選手、監督、コーチ(及びチーム帯同者)全員の体調を確認し、所定の健康状態報告書(別紙2)を作成し、大会当日に提出すること。  
**※ コーチ(チーム帯同者)・・・**令和4年度の本大会において、選手・監督以外に1名の帯同を認める。柔道指導者ではない保護者であってもチームに1名までコーチ(チーム帯同者)として、会場内に入ることができる。ただし、監督以外に柔道指導者(従来のコーチ)1名と保護者1名の計2名が入場できる訳ではないので、注意して頂きたい。そのような場合は、柔道指導者を審判員として、登録し、大会運営に御協力頂きたい。
- (6) 大会役員、審判は、来場者体調記録表(別紙3)を作成し、大会当日に提出すること。

## 16. その他

- (1) 大会実行委員会においてスポーツ傷害保険に加入するが、大会中の不慮の負傷や疾病については、応急処置を施すのみとし、それ以外の責任は負わない。  
※参加者は、『健康保険証又は証明書等』を持参することが望ましい。
- (2) 脳震盪対応については、選手および指導者は下記の事項を厳守すること。
  - ① 大会1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
  - ④ 当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事項報告書を提出すること。
- (3) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。
- (4) 試合着については公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)の限りではない。胸マーキング等について、道場名等は可とする。
- (5) 参加者は全員ゼッケンをつけること(男子は白地に黒、女子は白地に赤)。



布地	白色
サイズ	横30～35cm × 縦 25～30cm
文字配置	名字(苗字)は上側2/3、学校名は下側1/3に横書きとする
書体	太ゴシック体 または 明朝体 男子は黒色、女子は朱色で記載する。
縫い位置	後ろ襟より5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

- (6) 女子選手は、上着の下に白の無地半袖丸首シャツ(ワンポイント程度は可)を着用する。
- (7) 監督は、審判員に準じた服装をご用意願いたい。
- (8) 大会関連情報については以下の Web ページを参照されたい。(この要項も下記より入手可)  
「北海道中学柔道 Web」(<http://zsr.s201.xrea.com/zcj15/index.html>)の本大会ページ
- (9) 駐車場について、一般車両の用意は難しく、ご理解頂きたい。ただし、状況については先の Web ページにて告知する。
- (10) 弁当について、特に用意はしないが先の Web ページにて紹介をする。

**検索** 「北海道柔道」 →北海道中学柔道 Web